

いわて平泉米だより

今後の病虫害発生状況に注意を！

葉いもち発生状況について

一関地方病虫害防除員協議会は7月14日、葉いもちの発生状況調査を行いました。今年は昨年より雨が多かったこともあり、一部の圃場では葉いもち病の多発生が確認されています。また、一関地方病虫害防除員協議会では、斑点米カメムシ類のすくい取り調査を8月上旬に行いました。今後の病虫害の発生状況に注意をしましょう。

地区名	調査株数	発病株数(発病率)
西部地区 (一関、花泉、平泉)	135,500 株	179 株 (0.13%)
東部地区 (千厩、藤沢、大東、東山、室根、川崎)	86,600 株	268 株 (0.31%)
28 年合計	222,100 株	447 株 (0.20%)
(参考資料：27 年調査結果)	184,500 株	460 株 (0.25%)

主食用米の取り扱い拡大を要望！



津田物産の役員との意見交換

中京、関西でトップセールス

JAは7月19、20の両日、米のトップセールスを行いました。中京・関西方面の取り引き業者である津田物産(株)、黄桜(株)、大和産業(株)の3社を訪問。千葉長吉常務理事、佐々木正理事、遠藤恭一理事が意見交換をしました。津田物産(株)では主食用米の取り扱い拡大の要望を行いました。同社の奥社長は「主食用米について今後も協議を続けたい。加工用米については、来年度から再び複数年契約を結び安定供給をしてほしい」と今後の取り引きについて話しました。